

若手船用工業職員にインタビュー

四国内の船用工業事業者で働く
20、30代の男性お二人に職場での
雰囲気ややりがいなどのお話を聞
きました。



自分の作った部品が世界に スケールの大きなモノ作り

仕事内容はなんですか？

船舶用の空調機を製造しており、主に配線作業を担当しています。1つのミスが大きな事故や故障などに繋がることもあるため責任ある仕事ですが、日々楽しく業務に取り組んでいます。部品加工から組立、溶接、配線、塗装、取付まで自社で行っており、様々な工程に携わることができるため、今後もいろいろなことにチャレンジしたいです。

船用工業に興味を持ったきっかけは？

小さい頃からモノづくりに興味がありました。また、海や船が身近な存在だったので、地域の発展に貢献できる船用工業で働きたいと思うようになりました。船は私たちの生活の根幹を支える重要な役割を担っており、自分の仕事が船の先にいる人々や環境を支えていると思うと、とても誇らしく感じます。



溶接作業中の様子

船用工業の魅力や、仕事のやりがいはなんですか？

船舶向けの製品のため、スケールの大きなモノづくりに携われることに魅力を感じています。また、自分たちが作った製品が海を渡り、世界中で活躍していると考ええると、とてもワクワクします。これからもより良い製品を作っていけるよう、正確で高度な技術の習得を目指し、日々腕を磨いていきたいです。

休みの日は何をしていますか？

友人とスポーツをしたり、釣りに行ったりしてリフレッシュしています。また、有給休暇を利用して地元の行事へ参加することもあります。プライベートが充実しているからこそ、仕事もさらに頑張ろうと思うことができます。メリハリのある生活を続けられるよう、今後も趣味や自分の時間を大切にしていきたいです。